

1. 本公園の現況と課題

①特性

- 施設特性
 - ・ W杯クラスの国際試合開催可能なサッカー専用スタジアム
 - ・ サブグラウンド等サッカー関連施設がまとまる
 - ・ 広場等のイベントスペース
- 立地特性（美園地区）
 - ・ 人口急増、ファミリー層流入
 - ・ 小学校、病院の建設

②これまでの取組成果

- スタジアム
 - ・ 国際サッカー試合、プロサッカー試合の開催
- 園内（スタジアム以外）
 - ・ 県民のサッカー利用促進
 - ・ フリマ、エクササイズ等
- 園外
 - ・ 駅からのアクセス道路の維持管理等

③取り巻く社会潮流

- まちづくり
 - ・ 美園地区の人口増に伴う、地域コミュニティの形成や賑わい創出が地域課題に
- スポーツ振興
 - ・ スポーツを通じた地域の活性化
 - ・ サッカーのまち さいたま
- 近隣のスタジアム整備
 - ・ 新国立競技場、代々木公園内

④今後の公園づくりの課題

- 訪れる機会を増加させる魅力的な機能の充実・展開
- 地域住民の交流の場の提供と機会の創出
- 公園の施設特性、立地特性を生かした企画の充実
- ピッチ環境の維持とスタジアム利活用の両立
- 主催者と利用者のニーズに応えた満足度の向上
- 交通アクセス環境の改善
- 公園利活用時の周辺地域への配慮

2. 将来像

人をつなぐ、まちをつなぐ、サッカーの伝統をつなぐ

- ・ 公園で行われる多様なアクティビティが、人々の交流を生む。
- ・ 公園での交流を通じて、地域コミュニティを育みまちが一体となる。本公園を訪れた人は、美園のまちを知る。
- ・ 公園での試合観戦などを通じて、埼玉のサッカーの伝統を感じ、誇りを抱く。

3. 基本目標

<p>I 年間通じて多様なアクティビティで賑わう公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サッカー試合のみならず多様なイベント等の開催を志向 ・ 本公園ならではの独自性ある企画の開催を重視 	<p>II 暮らしの中の広場として住民の交流の核となる公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の日常的な公園利用を促進機能充実 ・ 地域住民のニーズ把握、管理運営等に取り入れる仕組みづくり ・ まちづくりに寄与する方策実施 ・ 来園者の安全確保、来滞在時間の分散 	<p>III 誇りあるサッカー文化を創造する公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界に誇るサッカー専用スタジアムの環境を維持し更に高める ・ 様々なサッカー試合を誘致、試合主催者・観戦者の満足度向上、埼玉のサッカーの歴史等を伝える機能の充実
--	--	---

4. 管理運営等に係る基本的事項

<p>【公園全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様なレクリエーションニーズへの対応 ・ 日常的な憩いの場としての機能と機会の充実 ・ サッカーに親しむ多様な機能と機会の創出 ・ 公園周辺への配慮 	<p>【スタジアム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な利活用ニーズへの対応 ・ 地域住民のスタジアム利用機会の創出 ・ サッカー試合環境・観戦環境等の向上 	<p>【交通アクセス環境の改善・向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来園者の入退園時間の分散 ・ 公園外での円滑な移動のための誘導 ・ アクセスルートにおける演出
--	---	--

《委員会による審議》

- ・ 多くのアイデアを実現できる柔軟性を持ちながら、明確な将来像を示すことが指針の役目
- ・ サッカー利用を尊重しつつ、その他の利用を受け入れ、地域と共生する日常利用の広い場でもあるべき
- ・ 利活用促進には、美園に位置する地域性や、サッカーや埼玉等のテーマ性を持つことが重要

- ・ プロ試合開催によって芝生利用のフレキシビリティが低くなる芝生管理の方針にはすべきでない。
- ・ コンサートを開催するには、8日の連続した日を開催する意思を示すべき。
- ・ イベント時は、音など周辺他施設への影響を考慮すること重要